

「ごちそうさま」を宴席で

さんまる いちまる

3010

運動

30

乾杯後、30分は自席で
食事を楽しみましょう。

10

お開きの前の10分は自席に
戻って食べ切りましょう。

食品ロス削減のため、宴席での料理を食べ切る運動にご協力を。

3010運動について

「ごみ減量と資源再利用推進会議」（※）では、食品ロス削減に向けた取り組みとして「3010（さんまるいちまる）運動」を進めています。

この運動は、宴席の場において、乾杯後の30分は自席で食事を楽しみ、お開きの10分前には自席に戻って食事を食べ切ることを推奨するもので、宴席における食べ残し（＝食品ロス）を削減するというものです。

農林水産省の調査によると、宴会での食べ残し量の割合は14.2%であり、食堂・レストランの3.6%、結婚披露宴の12.2%を上回っています。

「食べ残しはもったいない」ということは当然として、市内の飲食店から出る生ごみは、事業系一般廃棄物として天津市のごみ焼却施設に持ち込まれるため、食品ロス削減はごみ処理費用の節約に大きく寄与し、市民サービスの向上につながります。

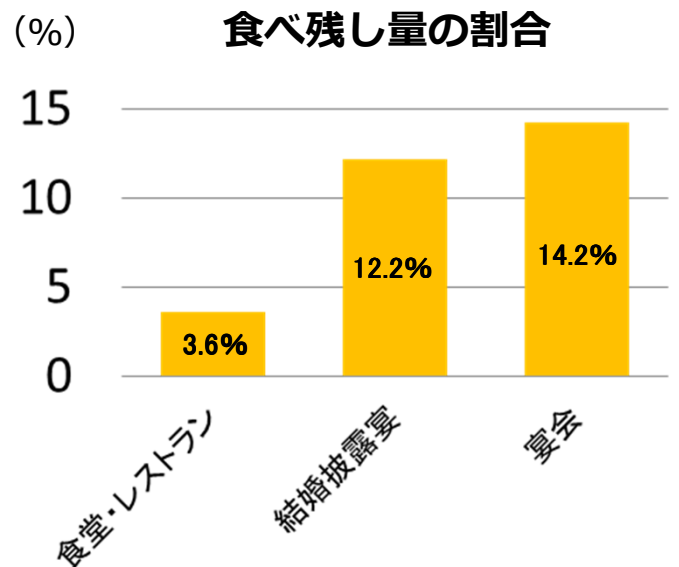
食事も会話も十分に楽しんで、食べ残しなく「ごちそうさま」。
天津における大人の新しいたしなみに、ぜひ、ご協力ください。

※ごみ減量と資源再利用推進会議・・・自治連合会や地域女性団体連合会等の市民団体と事業者、運動に賛同する個人で構成される市民会議です。

食品ロスとは？

まだ食べられるのに捨てられる食品のことで、日本から出る量は年間約632万t。

この量は、飢えに苦しむ人々に向けた世界の食料援助量（年間約320万t）の約2倍であり、日本国民が毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てている計算になります。



出典：農林水産省「平成27年度 食品ロス統計調査」

「3010運動」は松本市が始めた運動で、現在では佐賀市、大分市、塩尻市など、複数の自治体と同市内の飲食店等で取り組まれており、環境省や農林水産省も推奨しています。

ごみ減量と資源再利用推進会議・天津市

（事務局：天津市環境部廃棄物減量推進課 ☎528-2802 FAX528-2423）